日本インターンシップ学会

日本インターンシップ学会九州支部
企画研究 WG・年報編集委員会共催セミナー
『日々の実践からの研究企画と論文作成に向けて』

日本インターンシップ学会九州支部では、企画研究 WG と年報編集委員会との共催による『日々の実践からの研究企画と論文作成に向けて』のセミナーを下記のとおり開催いたします。

会員が各自の実践活動を相対化して観察する研究活動を行い、その観察を研究論文としてまとめるために、今どのような課題があるのか検討していきます。

～記～

■日時：2016 年 12 月 10 日（土）　14:00～16:30　（受付 13：30 から）

■会場：九州大学箱崎キャンパス　文・教育・人環研究等２階会議室

■プログラム（予定）

① 14:00～14:10　オープニング
「セミナーの趣旨説明」　安孫子 勇一（企画研究 WG 委員長・近畿大学）

② 14:10～15:10　レクチャー1
「日々の実践をどう研究論文にするか」　見舘 好隆（北九州市立大学）
授業やインターンシップ、PBL、サービスラーニングについて、その実践をどのように論文化するのか、質問紙による量的研究法ではなく、M-GTA など質的研究法および混合研究法について、ケーススタディ方式で学びます。

③ 15:20～15:50　レクチャー2
「『インターシップ研究年報』への投稿と査読の実際」　亀野 淳（年報編集委員会委員長・北海道大学）

④ 15:50～16:30　ディスカッション

■参加申込み

メールに、お名前、ご所属、メールアドレス、学会会員種別（個人会員、学生会員、法人・団体会員）をご記入いただき下記アドレスに e-mail にてお申し込みください。

申込締切：2016 年 12 月 5 日（月）　※先着 30 名

■お申込・お問合わせ先

お申込　e-mail; jsikyushu3125@gmail.com　（学会九州支部事務局）

内容についてのお問合わせ　e-mail; abiko@kindai.ac.jp（企画研究 WG・安孫子 勇一）

メインレクチャラー紹介

見舘好隆（みたてよしたか）

北九州市立大学キャリアセンター准教授（地域創生学群専任）。関西大学卒業後、旅行会社やインターネットプロバイダなど民間企業２社に 15 年間勤務。その後、首都大学東京、一橋大学大学院を経て現職。経営学修士、国家資格・２級キャリア・コンサルティング技能士、福岡県立高校「新しい学び」プロジェクトアドバイザー、フットパスネットワーク九州認定中級フットパスコーディネーター。研究領域は、若年者のキャリア形成支援。キャリア教育やキャリア支援、企業内教育など。近年は PBL やサービスラーニング、インターンシップ、産官学連携教育、高大連携など、大学での学びと社会との接続を中心に研究。個人サイト：http://mitate-lab.net